

平成26年度 社会福祉法人 伊東市社会福祉協議会 事業報告

本年度、地域住民・関係諸団体並びに行政の理解と協力により住民参加を基軸とする事業を実施し、地域福祉の推進を図るために以下の諸事業に取り組みました。

1 法人運営事業

法人の経営強化を図り、地域福祉の推進の中間支援組織として役割を果たすために組織運営事業ほか、以下の事業を実施しました。

(1) 社会福祉協議会の組織及び財政基盤の強化

市民会員は年々減少(前年比477世帯減)する状況にあることから会員制度を見直し、会員の拡充を目指すとともに、市民会員及び賛助会員に会員シールを発行し、会員加入の明確化を図った。

普通会費	市民会費	17,138世帯
	施設事業所会費	17施設 (市内社会福祉施設、事業者連絡協議会)
賛助会員	市民賛助会費	868篤志家・事業所
	法人等賛助会費	9会社・組合の寮保養所、単位老人クラブ

(2) 理事会・評議員会の開催

組織検討委員会の答申に基づき、本年6月1日の役員改正に伴い理事・評議員の選出区分を見直し(社会福祉施設、当事者団体、NPO法人等)、増員(理事14名から18名、評議員35名から37名)により組織運営の強化を図りました。

① 理事会の開催 (年5回開催)

年 月 日	審 議 案 件
平成26年 5月19日 (出席者 9名)	平成25年度 事業報告並びに各会計決算の認定、役員等の費用弁償に関する規程(案)、評議員の委嘱の同意、会員規程に定める会費の特例(案)の報告、第38回伊東市社会福祉大会開催の報告
平成26年 6月 1日 (出席者 13名)	会長・副会長の互選について、常務理事の指名について
平成26年 8月27日 (出席者 18名)	ボランティアセンター設置規程(案)、平成26年度一般会計補正(案)の認定、役員等の費用弁償の額の定めについて、会員規程に定める会費の特例について、平成26年度会費実績報告、第33回ふれあい広場の実施の報告
平成27年 1月26日 (出席者 14名)	事務局職員の給与に関する規程の一部を改正する規程(案)、月額職員の給与に関する規程の一部を改正する規程(案)、経理規程(案)について平成26年度一般会計資金収支計算書補正予算(案)の認定、苦情解決第三者委員の選任、運営資金の短期借入について

平成27年 3月26日 (出席者 14名)	職員の職制改正に伴う関連規程等の一部を改正する規程(案)、会長の費用弁償等に関する規程の一部を改正する規程(案)、平成26年度一般会計資金収支計算書補正予算(案)、平成26年度公益事業特別会計資金収支計算書補正予算(案)、平成26年度収益事業特別会計資金収支計算書補正予算(案)、平成27年度事業計画(案)、平成27年度資金収支計算書予算(案)の認定、副会長の選出、理事の選任の報告
--------------------------	---

② 評議員会の開催(年4回開催)

年 月 日	審 議 案 件
平成26年 5月19日 (出席者 29名)	平成25年度事業報告並びに各会計決算の認定、役員等の費用弁償に関する規程(案)、理事及び監事の選任、会員規程に定める会費の特例(案)の報告、第38回伊東市社会福祉大会開催の報告
平成26年 8月27日 (出席者 33名)	ボランティアセンター設置規程(案)、平成26年度一般会計補正(案)の認定、会長・副会長の選出の報告、役員等の費用弁償の額の定め及び会員規程に定める会費の特例についての報告、平成26年度会費実績報告、第33回ふれあい広場の実施の報告
平成27年 1月26日 (出席者 32名)	事務局職員の給与に関する規程の一部を改正する規程(案)、月額職員の給与に関する規程の一部を改正する規程(案)、経理規程(案)について平成26年度一般会計資金収支計算書補正予算(案)の認定、苦情解決第三者委員の選任、運営資金の短期借入について
平成27年 3月26日 (出席者 35名)	職員の職制改正に伴う関連規程等の一部を改正する規程(案)、会長の費用弁償等に関する規程の一部を改正する規程(案)、平成26年度一般会計資金収支計算書補正予算(案)、平成26年度公益事業特別会計資金収支計算書補正予算(案)、平成26年度収益事業特別会計資金収支計算書補正予算(案)、平成27年度事業計画(案)、平成27年度資金収支計算書予算(案)の認定、理事の選任について、副会長の選出の報告

(3) 社会福祉法人連絡会の開催

社会福祉法人の公益活動を進め、市内社会福祉法人の連携・協力体制づくりを目的に、情報交換を年2回開催しました。

- ①第1回 ・開催日時 平成26年8月11日(月)午後1時30分～午後2時50分
 ・場 所 伊東市保健福祉センター 2階 講習室
 ・出席者 市内11社会福祉法人13名(城ヶ崎いこいの里、伊豆高原十字の園、鑑石園、農協共済中伊豆リハビリテーション、子ども未来計画、栄光会、厚生保育会、恩賜財団済生会支部静岡県済生会、春栄会、心友会、伊東市社会福祉協議会)
 ・内 容 人材確保の困難さ、社会福祉法人のあり方(公益活動等)社協で進める地域活動について
- ②第2回 ・開催日時 平成27年3月23日(月)午後1時30分～午後2時40分
 ・場 所 伊東市保健福祉センター 2階 講習室
 ・出席者 市内9社会福祉法人11名(城ヶ崎いこいの里、鑑石園、子ども未来計画、栄光会、厚生保育会、恩賜財団済生会支部静岡県済生会、春栄会、心友会、伊東市社会福祉協議会)
 ・内 容 子ども子育て支援事業者連絡協議会の設立について、生活困窮者自立支援相談事業について

(4) 苦情解決第三者委員会の開催

本年度は委員の改選を行い、評議員の中から民生委員・児童委員、市内社会福祉法人代表者各1名を選出し、本会が提供する福祉サービスに係る利用者等からの苦情の解決を図るため、苦情解決第三者委員会を開催しました。

- ・開催回数 平成27年3月18日(水)午後1時30分～午後2時30分
- ・場 所 伊東市保健福祉センター 2階 会議室
- ・出席者 第三者委員2名・事務局9名
- ・報告件数 7件(苦情)

(5) 善意銀行の運営

市民からの貴重な寄附金品を福祉事業の財源又は施設、要援護者の支援に活用しました。

① 寄付金の受け入れ

寄付件数	寄 付 総 額
39件	1,102,053 円

② 物品の受け入れ

寄付件数	寄 付 物 品
24件	車椅子2台、納豆 1,072食、遺失物取得品108点、菓子・果物・缶詰、ヤクルト 3,245本、タオル175枚、うちわ2,500本、布団5組、マッサージチェア1台、介護用品(オムツ等)

物品の使い道：車いすの貸出、食品は市内社会福祉施設、マッサージチェアは高齢者サロン(なごみ)、布団は火災等にあわれた方など支給、遺失物はふれあい広場のバザー用品、タオルは災害への備えとして、使用させていただきました。

(6) 静岡県健康福祉大会への参加

平成26年10月24日(金)、静岡市民文化会館大ホールにおいて、静岡県知事を大会会長に健康福祉県づくりの実現に向け、県健康福祉大会が開催され、社会福祉並びに健康増進活動に功績のあった個人・団体として、本市より県社協会長表彰14名(保護司 2名、施設職員12名)が表彰を受け、民生児童委員関係者を含め18名が参加しました。

(7) 全国社会福祉大会への参加

平成26年11月21日(金)日比谷公会堂において、永年にわたり地域福祉に貢献された民生委員児童委員の方1名が全国社会福祉協議会会長から表彰され、受彰者とともに2名が参加しました。

(8) 広 報 活 動

①社協だよりの発行

地域福祉の推進並びに本会の活動の理解を広めることを目的に年4回(9月、10月、12月、3月)“社協だより”を全戸配布(29,800戸)し、広報啓発を図りました。

②ホームページによる情報提供

市民へ迅速に情報提供を行うためにホームページを開設し活用を図りました。

(9) 関係諸会議及び研修会への参加

職員の資質向上並びに人材育成のための会議・研修に職員を派遣しました。

- | | |
|---|-----------|
| ①会長・事務局長関係会議・研修 | 4日 延べ 4名 |
| (县市町社協会長会議、市町社協事務局長会議等、東部事務局長会議) | |
| ②事務局職員関係会議・研修 | 26日 延べ35名 |
| (生活福祉資金貸付事業研修会・担当者会議、ファミリーサポート事業アドバイザー、共同募金事務担当者会議、生活困窮者自立支援事業研修会、会計担当者実務研修、居場所づくり研修会、災害救援訓練・災害ボラセン研修会、地域福祉推進研修会) | |
| ③介護保険事業関係職員会議・研修 | 32日 延べ51名 |
| (県ヘルパー連絡協議会研修会、介護保険事業者集団指導、同行援護(障害福祉サービス)従事者研修、訪問入浴サービス従事者研修、介護保険・障害福祉サービス事業者説明会、レク講習会、レクインストラクター講習会) | |
| ④地域包括支援センター職員会議・研修 | 6日 延べ10名 |
| (地域包括管理者研修、職員基礎研修、職員研修、認知症キャラバンメイト養成研修) | |
| ⑤その他 | 8日 延べ11名 |
| (老人クラブ事務担当者・新任会長研修会、老人クラブ会長研修会、東部地区民生児童委員協議会研修会) | |
| 計 76日 延べ111名 | |

2 地域福祉推進事業

(1) 地域での福祉活動を推進する基盤づくり

地域での福祉問題を発見し考え、共に解決を図るために「地域をつなぐ絆の再構築」を基本目標とする地域福祉活動計画の推進に取り組みました。

①地域福祉活動の推進についての説明会の開催

第2次活動計画の重点事業である地域福祉を推進する仕組みづくりの必要性について、宇佐美地区をモデル的な取り組みとして、平成26年8月～平成27年1月にかけて、地域の関係団体への理解と協力の要請を行いました。

- ・説明会 8日(区議会・区役員会、地区民生児童委員協議会、地区保健委員、地区老人クラブ等)

②居場所づくり検討会

地域福祉活動の説明会において、住民の声として、把握された「居場所づくり」や「要援護者の見守り」活動の課題が明確となり、地域での取り組みに向けて、意見交換を行いました。

- ・開催日時 平成27年1月22日
- ・開催場所 宇佐美コミュニティーセンター 2階視聴覚室
- ・参加者 17名(区長、民生児童委員、老人クラブ、女性連盟、包括支援センター 宇佐美の園、工房うさみ等)

③居場所づくり講演会

- ・開催日時 平成27年2月7日(土) 14:00～16:30
- ・開催場所 宇佐美コミュニティーセンター 3階 大会議室

・テーマ 「居場所があって良かったね」NPO法人泉の会 藤下 品子氏

・参加者 120人

④居場所づくり視察研修

・開催日時 平成27年3月19日(木) 9:00~15:30

・視察場所 コミュニティカフェ悠々、ひだまり亭(沼津市)

・参加者 15人(民生児童委員、女性連盟、保健委員、工房うさみ、包括)

(2) ボランティアニーズの需給調整

ボランティアを必要とする個人・団体・施設等の相談に応じ、ボランティアの需給調整を行うとともに地域のニーズ把握に努め、ボランティアの育成等活動の推進を図りました。

相談件数	幹 旋			合 計
	施設向け	在宅向け	その他	
23件	16件97人	2件2人	5件13人	23件112人

(3) ボランティア講習会・研修会の実施

①ボランティア講習会(第1回)

ボランティア協会会員を対象にボランティア活動の基礎・活動の研修を行いました。

日 時 平成26年5月2日(金)13:00~15:00

場 所 伊東市保健福祉センター2階 集会室

内 容 市内社会福祉施設との意見交換を通して、今日求められるボランティア活動や活動上の課題について、グループワークを通じて、意見交換を実施しました。

参加者 40名(ボランティア協会会員35名、施設職員5名)

②ボランティア講習会(第2回)

日 時 平成27年3月21日(土)13:30~16:15

場 所 伊東市保健福祉センター2階 集会室

内 容 ボランティア活動団体から実践活動の報告及び意見交換。

参加者 40名(施設ボランティア、傾聴ボランティア、災害ボランティア、高校生、施設職員)

③福祉体験学習及びボランティア育成事業

(市委託事業)

中高生を対象に福祉体験学習及びボランティア育成事業を実施しました。

活動日・活動場所	事業名	活動内容	参加者数
平成26年7月26日(土) 特養 奥野苑	わくわくデイキャンプ(日帰り)	中高生と障がい者当事者・家族とのデイキャンプを通しての交流	55名
		(中高生18名・障がい者27名・スタッフ10名)	
平成26年10月4日(土) ～10月5日(日) 保健福祉センター	わくわく キャンプ2014 (一泊二日)	障がい者と野外宿泊を計画したが、台風接近のため保健福祉センターにおいて実施。	55名
		(高生6名・障がい者・家族39名・スタッフ10名)	

④街づくりプロジェクト

市内の観光・商工・福祉はじめ地域で活動する個人・団体が暮らしやすい街・バリアフリーの街づくりについて、情報交換を通して、協働活動の基盤づくりを行いました。

活動日・活動場所	事業名	活動内容	参加者数
平成26年9月6日(土) 伊東商工会議所	意見交換会	観光・商工・福祉に係る活動実践者が「暮らしやすい街・訪れたい街に」をテーマに活動報告・意見交換を行った。	66名
平成27年2月15日(日) 道の駅 「伊東マリントウン」	バリアフリー・ ミニツアー (車イス点検活動)	市内高校の課外活動の一環で、バリアフリー調査を行った。	22名

(4) ボランティアビューロー(ボランティアグループ連絡会)の開催

ボランティアグループ12団体で構成するボランティア協会のボランティア相互の交流と情報交換を行いました。

- ・定例会の開催 11回
- ・その他(市内施設を見学)

(5) 災害ボランティアネットワーク事業

①静岡県内外の災害ボランティアによる支援活動のための図上訓練への職員を派遣しました。

災害発災後の初動及び災害ボランティアセンター立上げからボランティアによる支援活動の図上訓練の研修に平成27年3月7日(土)～8日(日)の2日間、1名の職員を派遣しました。

②障害者当事者団体への防災に関する啓発等のための職員派遣

- ・自立支援協議会(知的障害部会) 3回
- ・手をつなぐ育成会防災視察研修(宮城県石巻市)2泊3日 2名

③災害支援活動あり方検討会

県社協が開催する災害支援活動の検討会へ職員(1名)を派遣しました。

実施日 2回(平成26年7月7日、12月12日)

開催場所 静岡県総合社会福祉会館

(6) ボランティア保険の加入促進

ボランティアの活動中の事故に備えて、保険の加入促進を行いました。

・保険加入者数 31団体 498人、個人10人 ・ボランティア行事用保険 13件 1,226人

(7) 福祉教育資材の整備並びに貸出と情報提供

福祉教育や研修会を行う際に福祉機器、資料、講師の紹介等情報提供を行いました。

・福祉体験学習の指導 13件 ・福祉機器の貸出 5件 ・講師の紹介 11件
・福祉の情報提供 4件

(8) 第33回ふれあい広場の開催

障がい者、子どもから高齢者まで地域で暮らす人々の交流を図り、福祉関係団体、福祉施設、ボランティアによる作品展示、模擬店等を通じて、福祉への理解と関心を深めました。

・開催日 平成26年9月28日(日) ・会場 伊東市役所 ・参加者 4,000人

(9) 第38回伊東市社会福祉大会の開催

永年にわたり社会福祉に貢献された方や団体・機関へ表彰・感謝をするために表彰式典を開催し、地域福祉推進における地域の絆づくりをテーマに講演会を通して、福祉啓発を図りました。

・開催日 平成26年6月28日(土) ・会場 市役所8階大会議室

・参加者 200人

・講演 「地域に居場所を作るまで」 講師 NPO法人泉の会 理事長 藤下 品子 氏

3 在宅福祉推進事業

(1) ひとり暮らし高齢者交流会（ふれあいの楽しみ会）の実施

閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者を対象に地区別6回、参加者270人で市内景勝地（小室山）において、ウォーキングやレクリエーションを通して、介護予防及び参加者相互の交流を通して、孤独感の解消を図りました。参加者及び民生委員（69名）の参加も年々増加しており、地域でのつながりを深めています。

(2) ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク事業

市内モデル地区（湯川・松原・玖須美・岡・鎌田）において、ひとり暮らし高齢者等を対象に地域での孤立しないよう月に1回以上の自宅を訪問し、安否確認を実施しました。

見守り世帯数	見守り活動協力者	延べ訪問回数
2世帯	3名	36回

(3) 総合相談及び心配ごと相談所の運営

①心配ごと相談（毎週水曜日午後1時30分～4時・伊東市保健福祉センター）

民生児童委員・市女性相談員が市民からの日常生活で抱える課題の相談に応じ、問題解決のための助言及び他機関の紹介を行いました。相談件数は減少しているが、生活困窮や離婚、家族の病気など気軽に相談できる人がなく、問題が多様かつ多重になってきています。

相談事項 処理状況	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健	医療	人権・法律	財産	事故	貯蓄・贈遺	教育青少年	娯楽賭博福祉	貯・好福祉	老人福祉	苦情	D V	その他	合計
所内解決	2	0	0	0	1	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
他機関紹介	3	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	10
合計	5	0	0	2	2	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	17

②総合相談（毎週月曜日～金曜日・祝祭日を除く）

相談事項 処理状況	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健	医療	人権・法律	財産	事故	貯蓄・贈遺	教育青少年	娯楽賭博福祉	貯・好福祉	老人福祉	苦情	D V	その他	合計
所内解決	328	7	16	17	0	0	0	0	87	0	6	0	0	6	13	0	117	7	0	58	662
他機関紹介	17	0	3	4	0	0	13	1	0	15	36	2	0	1	1	0	0	5	1	4	103
合計	345	7	19	21	0	0	13	1	87	15	42	2	0	7	14	0	117	12	1	62	765

(4) 無料法律相談

静岡県沼津弁護士会の協力により無料弁護士相談を毎月第2・第4火曜日保健福祉センターにて、市民から相談における法的ニーズに対応した。本年度は実施日数が1日減らしたが、相談件数は5件増加しており、相談内容は相続、離婚、不動産トラブルの順に多くなっています。

実施日数 19日（中止2日：申込状況による） 相談件数 92件

4 受託事業

(1) 保健福祉センター（老人福祉施設）の受託運営（指定管理期間：平成23年度～平成27年度）

指定管理制度である高齢者の健康づくり・介護予防を目的とする施設運営を行いました。

① 利用者数 21,865名

内訳：老人 7,716名、各種相談 1,952名、市関係 11,369名、福祉団体 828名

② 開館日数 244日 ③ 一日平均利用者数 89.6人

(2) 介護予防拠点施設シニアプラザ桜木・湯川・くすみの受託運営

（指定管理期間：平成24年度～平成28年度）

市内3カ所の高齢者の生きがい活動や健康増進などの介護予防施設を拠点に仲間づくりを通して、生活の活性化を目的に施設の管理運営を行いました。

① 延開館日数 723日（湯川 241日、桜木 241日、くすみ 241日）

② 平均開館日数 241日

- ③ 延 利 用 人 員 17,997人 (湯川 3,657人、桜木 8,685人、くすみ 5,655人)
- ④ 平 均 利 用 人 員 5,999人
- ⑤ 実 施 内 容 手芸教室、書道教室、カラオケ教室、ウォーキング教室、童謡唱歌、
絵手紙教室、介護予防体操、麻雀、太極拳

(3) 介護予防普及啓発事業

65歳以上の方を対象に体力や筋力低下を防ぐために介護予防と生活機能の向上を目的に介護予防チェックリストにより参加者の状態に合せ、一次二次の体操教室を開催しました。

①一次予防教室 (1教室10回)

教室数	開催場所	回数	参加者数	延べ参加者数
6教室	鎌田温泉会館(前半・後半)、ひぐらし会館、湯川会館、泉会館	60回	116人	944人

②二次予防教室 (1教室12回)

教室数	開催場所	回数	参加者数	延べ参加者数
4教室	シニアプラザ湯川、シニアプラザ桜木はばたき、中央会館	48回	38人	423人

③フォローアップ教室の開催 (1教室)

教室数	開催場所	回数	参加者数	延べ参加者数
8教室	鎌田温泉会館、岡温泉会館、湯川会館、はばたき、保健福祉センター、シニアプラザ湯川、ひぐらし会館 (2回)	11回	129人	129人

(4) ファミリーサポート事業 (子育て支援) の受託運営

子育ての支援を受けたい人(依頼会員)と支援する人 (支援会員)、その両方を兼ねる人 (両方会員) が会員として登録し、小学低学年までの子を対象に支援会員が自宅での預かり、保育園の送迎などの助け合いを通して、子育て世帯への支援を行いました。

①会員登録数 121名 (依頼会員87名、支援会員31名、両方会員 3名)

②支援活動実績 依頼件数 633件 支援件数 460件

内訳	依頼及び支援内容	依頼件数	支援件数
	保育園・幼稚園の登園前の預かり及び送り	34件	30件
	保育園・幼稚園の迎え及び支援会員宅での預かり	223件	151件
	学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	95件	73件
	子どもの習い事などの送り迎え	11件	5件
	保護者の就労の場合の支援 (預かり)	181件	135件
	保護者の求職活動中の援助	5件	5件
	保護者の冠婚葬祭、学校行事参加のための預かり	2件	2件
	保護者の病気、その他急用の場合の支援	2件	2件
	保護者の外出する場合の援助(通院等)	49件	34件
	家事等用事を済ませる場合の援助	18件	14件
	その他 (学校行事参加時の一時あずかり)	13件	9件

③支援会員の養成

- ・開催回数 2回
- ・開催日時 第1回 支援会員講習会（平成26年6月10日（火） 9:00～16:00）
第2回 支援会員講習会（平成26年12月25日（水）9:00～16:00）
- ・参加者数 18名（第1回 10名、第2回 8名）
- ・内 容 子どもの接し方・遊び方、子どもの病気とその看護、子どもの食事と栄養
気になる子どもと保護者の関わり方
- ・講 師 市健康医療課 保健師2名、ファミサポ保育士1名

④会員の情報交換及び交流会

- ・情報誌「ファミサポ通信」の発行（150部）
- ・支援会員研修会（7月30日（水） 参加者6名）
- ・会員交流会
平成27年2月11日（水）10:00～12:00保健福祉センターにおいて、23名の参加により会員の交流を行いました。

⑤その他の活動

- ・宅児ボランティア（支援会員2名・アドバイザー2名）
4月18日（金）に旭小において、父兄会の際に校内での子どもの宅児を実施。
- ・イベント参加
事業内容の啓発のために「ふれあい広場（平成26年9月28日）」とNPO法人ゆう主催「子育てはっぴいフェスタ（平成27年1月18日）」のイベントでのブースを設置しました。

5 地域包括支援センターの受託運営

保健師・看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員等の8名を配置し、地域包括ケアの基盤整備、総合相談支援、権利擁護、介護予防への取り組み包括的・継続的ケアマネジメント支援といった地域包括ケアにおけるマネジメントを担う中核機関として活動を進めるとともに広野分室で地域の高齢者の居場所づくりとして、サロン活動の運営等以下のような事業を実施しました。

(1) 総合相談支援・権利擁護（虐待の防止）

高齢者のニーズを把握し、総合的な相談・支援を行い、また、高齢者の人権や財産を守るため、関係機関と連携し、高齢者の虐待防止や権利擁護に努めました。

①相談件数と相談経路

相談方法	来 所	電話・FAX等	訪 問	その他	合 計
相談件数	205人	1,614人	2,053人	285人	4,157人

②主な相談内容

医療・在宅介護・認知症高齢者に関する内容とその他では、体調変化の不安や精神的な支えを求める相談内容が著しく増えており、地域や家族とのつながりや支援を受けられない孤立した状況が伺われます。

- ・介護保険に関する相談
- ・医療に関する相談
- ・在宅介護に関する相談
- ・介護予防に関する相談
- ・施設入所に関する相談
- ・認知症高齢者に関する相談
- ・家族、経済問題等の相談
- ・制度利用の申請代行
- ・ケアマネジャーの支援
- ・権利擁護成年後見制度に関する相談
- ・住宅改修に関する相談

(2) 共通的支援の基盤構築

地域に総合的なサービスネットワークの構築のため、関係機関・団体との調整を図りました。

運 営 状 況	回数	運 営 状 況	回数
地域ケア会議	3	関係団体との会議	34
包括会議	3	相談協力員	0
包括部会（三職種）	14	研修会	5
その他(介護予防教室、サロン行事)	35		

(3) 包括的・継続的マネジメント支援

高齢者に継続的なサービスが提供されるよう地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制の構築を支援しました。

- ・ケアマネジメントへの支援 135回

(4) 介護予防マネジメント

要介護認定の要支援1、2に該当する高齢者（予防給付）、特定高齢者（介護予防事業）に対して、介護予防サービス計画を作成するとともに計画に基づくサービスの提供が確保されるよう、関係機関と連絡調整を行いました。

- ・新予防給付ケアプラン作成状況

年間延作成件数 2,738件(直営 1,279件、委託 1,459件)

- ・特定高齢者介護予防プラン作成状況

作成件数 39件

(5) 地域包括支援センターなごみ分室及びサロン事業“しゃべり場”の運営

地域の福祉の拠点として福祉総合相談支援事業及び高齢者はじめ地域の人々が交流を図る場所づくりを設置し、気軽に立ち寄り、介護予防の体操、ゲーム、談話を楽しみながら、地域の絆づくりを深めるサロンを実施した。利用者は前年より年間2,700人程増えています。

- ①開設日時 月曜日～金曜日(祝祭日及び12月29日～1月3日を除く。) 10時00分～16時00分
- ②年間開設日数 242日
- ③年間利用者 9,546人(男性2,465人 女性7,081人)※一日平均39.4人

6 公益事業（職員派遣事業）

市が運営する中央地域包括支援センターへ専門職の職員派遣事業を実施しました。

- (1) 派遣職員数 3名（主任介護支援専門員1名、社会福祉士2名）
- (2) 派遣業務 地域包括支援センター総合相談業務及びケアプラン作成業務
- (3) 就業場所 伊東市役所 高齢者福祉課内
- (4) 派遣期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日

7 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業） [県社協委託事業]

高齢による認知機能の低下や障害から判断能力が不十分なため、安心して暮らせるように福祉サービスの利用支援や日常的な金銭管理サービス、書類等の預かりサービスを実施しました。

(1) 会議及び研修

- ① 専門員連絡会（県社協主催）及び専門員研修会への出席
 - ・日時 平成27年 2月27日
 - ・場所 静岡県総合社会福祉会館
- ② 日常生活自立支援事業担当者会議
 - ・日時 平成26年 6月27日
 - ・場所 静岡駅前山口ビル

(2) 相談件数 154件

内訳：認知症高齢者 110件、知的障がい者 7件、精神障がい者 24件、その他 13件

- (3) 訪問・調査件数 131件
- (4) 契約締結件数 2件
- (5) 生活支援員数 7名

8 共同募金事業

(1) 静岡県共同募金会 伊東市共同募金委員会（委員数30名）の開催

年 月 日	審 議 案 件
平成26年 5月19日 (出席者25名)	平成25年度事業報告並びに寄付金会計・事務費会計決算の認定、副会長の選任について
平成26年 8月27日 (出席者25名)	平成26年度共同募金(赤い羽根)実施計画の認定、平成26年度県共同募金会並びに伊東市共同募金委員会への申請状況の報告
平成26年11月25日 (出席者28名)	平成26年度共同募金(赤い羽根)の結果報告、平成26年度歳末たすけあい運動の実施・配分基準並びに配分総額について
平成27年1月26日 (出席者26名)	平成26年度歳末たすけあい運動募金の実績及び配分結果報告
平成27年3月26日 (出席者24名)	平成26年度寄付金会計・事務費会計補正予算、平成27年度事業計画並びに寄付金会計、事務費会計予算の認定、副会長の選出

(2) 共同募金（赤い羽根）運動

①募金目標額と実績額

区長、民生児童委員、町内会長・会計、女性連盟、ボーイスカウト、ガールスカウトの協力により各世帯や会社、商店、篤志家、団体等市民から寄せられた募金。

(単位 円)

県目標額 (広域目標額)	市目標額 (地域目標額)	区 分 別 実 績 額				合 計
		個 別	大 口	街 頭	窓 口	
3,020,000	7,000,000	4,279,118	1,737,415	204,559	210,743	6,431,835

②県共同募金会から本市共同募金会に交付される配分金額（平成26年度配分）

配 分 先	金 額	摘 要
本市社会福祉協議会	3,412,908円	平成27年度地域福祉活動事業助成金
事 務 費	305,600円	赤い羽根事務費210,600円、歳末たすけあい95,000円
合 計	3,718,508円	

(3)歳末たすけあい運動

① 募 金 実 績 額

市内経済の回復の遅れから募金実績はここ数年目標額に達しない状況であります。

目 標 額	区 分 別 実 績 額			合 計
	大 口	街 頭	窓 口	
3,200,000円	1,346,000円	596,298円	1,236,680円	3,178,978円

② 配 分 内 容

生活に困窮する世帯(準要保護世帯)の増加が顕著であり、前年より2割程(世帯17世帯、人員で49名増加)増加しており、一人親世帯に非正規雇用が多く、子どもへ困窮さが連鎖し、経済的な不安定な世帯が増えています。

配 分 対 象	配分金額	摘 要
準要保護世帯	1,737,000円	準要保護114世帯302人、準要保護新入学児童17人
在宅障害者	490,000円	特別障害者手当受給者 56人、精神障害者14人
在宅障害児	175,000円	障害児福祉手当受給者 25人
交通遺児	30,000円	交通遺児 3人
市内福祉施設	0円	無認可保育園が社会福祉法人格を取得。
在宅ねたきり老人	483,000円	在宅ねたきり老人 79人
配 分 経 費	26,709円	通信運搬費、消耗品
平成27年度事務費	95,000円	
合 計	3,036,709円	

※募金実績額と配分総額(次年度運動準備金並びに配分諸経費を含む。)の収支差△142,269円は、赤い羽根共同募金配分金事業費に充当されます。

(4) 老人福祉活動事業

老人クラブ連合会助成事業

老人クラブ連合会の運営と事業を補助することにより高齢者の生きがいの創出及び老人クラブ連合会活動のために助成を行いました。

- ・老人クラブ連合会運営費及び事業費補助
- ・老人クラブ連合会ゲートボール大会
- ・老人クラブ連合会演芸大会
- ・老人クラブ連合会交流懇親会

(5) 障害児・者福祉活動事業

- ・手をつなぐ育成会への助成
- ・ともだち運動会（知的障がい者）への助成

(6) 児童・青少年福祉活動事業

① 児童健全育成費助成事業

児童の健全な育成のために活動する15区の子ども会育成連絡協議会に対し、総額770,300円の助成を行いました。

② 子どもの遊び場助成事業（申請なし）

(7) 福祉団体育成・生活支援事業（低所得者世帯援護事業）

① 福祉団体助成事業

本会と協働して、地域福祉活動を進める関係機関・団体に助成しました。

- ・配分対象 12団体 配分額 1,017,000円

② 災害見舞金支給事業

風水害、火災等により被災された世帯に対して見舞金を支給しました。

- ・支給件数 7件
- ・支給総額 115,000円

[全焼(20,000円)5件、半焼(10,000円)1件、一部焼(5,000円)1件]

③緊急食糧配布事業

その日の食べ物にも事欠くという緊急性の高い経済的困窮が増加しており、2日分の食糧支援を行いました。

- ・利用者 21人
- ・延利用回数 28回
- ・配布食数 43食

9 貸付金事業

他機関からの借り入れが困難な低所得世帯を対象に、民生委員児童委員と連携を図り、緊急に生活費を必要とする世帯に資金の貸付と相談援助を行い、世帯の自立支援を行いました。

(1) 応急貸付資金貸付事業

低所得者世帯に対し、無利子で生活費（原則3万円まで）を貸し付け、経済的支援を行いました。

なお、貸付金額は前年比24.8%減であるが償還率は52.7%と前年より12.5%低下しており、生活の困窮度が深刻化していることがうかがわれます。

本年度貸付件数・貸付金額	回収金額			未回収金額	欠損処分額
	現年度分	回数	金額		
63件 1,697,000円	現年度分	50回	895,000円	802,000円	0円
(前年度81件2,258,000円)	過年度分	30回	391,000円	7,064,420円	0円
	計	80回	1,286,000円	7,866,420円	0円

※償還回数は、1件の貸付に対し、最長5カ月以内での償還であることから償還回数が上回る。

(2) 高額療養費資金貸付事業

高額医療費の支払いに困窮する国保被保険者に対し、無利子で資金を貸し付け生活の安定を支援しました。

本年度貸付件数・貸付金額	回収金額			未回収金額	欠損処分額
	現年度分	回数	金額		
25件 4,631,000円	現年度分	19回	3,752,000円	879,000円	0円
	過年度分	1回	268,000円	475,625円	0円
	計	20回	4,020,000円	1,354,625円	0円

(3) 生活福祉資金貸付事業

[県社協委託]

本貸付制度は県社会福祉協議会が実施主体として、本会が窓口となって、離職者、低所得者世帯や高齢者世帯、障がい者世帯に対し、それぞれの世帯に応じた資金の貸付を行いました。

種別		件数	貸付金額	貸付対象者	貸付の内容
総合支援資金	生活支援費	0件	0円	低所得者世帯 (離職者)	生活再建のための生活費
	住宅入居費	0件	0円		住宅賃貸契約の費用
	一時生活再建費	0件	0円		公共料金、転居費用等
福祉資金	福祉費	4件	698,000円	低所得者世帯 障害者世帯	生業を営む資金、技能取得 介護サービス費用、転居費用、
	緊急小口資金	9件	805,000円	高齢者世帯	一時的な生活費
教育支援資金	教育支援費	0件	0円	低所得者世帯	就学に必要な経費
	就学支度費	0件	0円		入学に際し、必要な経費
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	0件	0円	高齢者世帯	不動産を担保に老後の生活資金の貸付
計		13件	1,503,000円		

※貸付利子：連帯保証人がある場合及び緊急小口、教育資金は無利子、連帯保証人がない場合は年利1.5%。不動産担保については年利3%又は4/1現在長期プライムレート金利。

(4) 臨時特例つなぎ資金

公的給付制度又は公的貸付制度の開始までの生活に困窮する離職者で住居を喪失していることを条件に無利子で一時的な生活費（10万円以内）の貸付を行い、離職者の支援を行いました。

件数	貸付金額	対象者	貸付の内容
2件	140,000円	住居損失の離職者	公的給付金又は公的貸付金の交付を受けるまでの生活費

10 指定訪問介護事業

要支援、要介護認定を受けた高齢者が、自立した日常生活を営むことができるよう身体介護や生活援助等のホームヘルプサービスを提供しました。

- ① 配置職員数 常勤3名・非常勤11名（非常勤3名・登録8名）
- ② 年間延利用者数 660人 （前年比 9人減）
- ③ 1ヵ月あたり利用者数 55人 （前年比 0.8人減）

④ 年間サービス提供時間 7,684.5時間 (前年比 247.5時間減)

内訳	区分	身体介護	身体生活	生活援助	予防介護
	時間数	1,447.5時間	2,317.5時間	2,231.5時間	1,688時間
	構成比	18.8%	30.2%	29.0%	22.0%

⑤ 1ヵ月あたりサービス提供時間数 640時間数 (前年比 21時間減)

1.1 居宅介護支援事業

利用契約された要援護高齢者に対し、個々の解決すべき課題に応じた介護サービス計画(ケアプラン)を作成し、要援護者の自立支援に行った。本年度は1名減の3名の職員体制で運営を行いました。

① 配置職員数 常勤3名 (常勤3名) ※1名減

② 年間延作成数 1,077プラン (前年比 288プラン減)

内訳	要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	作成数	440	309	151	83	94
	構成比	40.9%	28.7%	14.0%	7.7%	8.7%

③ 1ヵ月あたり作成数 89.6人 (前年比 24.2人減)

④ 介護予防プランの受託(地域包括支援センターからの受託事業)

介護保険における予防給付の対象となる要支援者に対し、介護予防サービス計画を作成し、サービスの需給調整を行いました。

介護予防プラン年間延作成数 16プラン (前年比 257プラン減)

1.2 指定訪問入浴事業

(1) 指定訪問入浴事業の運営

要介護者の自宅において、移動入浴車による入浴サービスの提供を行いました。

① 配置職員数 常勤3名(看護師1名、介助員2名)・非常勤6名(看護師2名、介助員4名)

② 年間延利用者数 287人 (前年比 85人減)

③ 1ヵ月あたり利用者数 23.9人 (前年比 7.1人減)

④ 年間実施回数 1,534回 (前年比 379回減)

⑤ 1ヵ月あたり実施回数 127.8回 (前年比 31.2回減)

(2) 障害者訪問入浴事業の受託

行政の委託により在宅重度障害者への移動入浴サービスを実施した。

年間派遣 実人員	年間派遣 延世帯数	年間延 実施回数	1ヶ月平均 実施回数
2名 (前年比2人減)	11世帯 (前年比17世帯減)	71回 (前年比189回減)	5.9回 (前年比15.7回減)

1.3 福祉用具貸与事業

(1) 指定福祉用具貸与事業の運営

要支援・要介護者へ自立した日常生活と介護負担の軽減を図るために福祉用具の貸与を行いました。

- ① 配置職員数 3名（兼務）
- ② 年間延利用者数 302人（前年比 63人減）
- ③ 1ヵ月あたり利用者数 25.2人（前年比 5.2人減）
- ④ 年間貸与品目数 1,346品目（前年比 235品目減）

内訳	品名	車椅子	特種寝台	エアーマット	その他
	数量		188	949	53

- ⑤ 1ヵ月あたり貸与品数 112.2品目（前年比 19.6品目減）

(2) 身体障害者福祉用具貸与事業の運営

介護保険非該当の高齢者並びに在宅障害者に対し、福祉用具の貸与を実施しました。

車椅子	ポータブルトイレ	歩行補助具	その他の福祉用具
83件	19件	0件	11件

※その他の福祉用具：シャワーチェア、杖

1.4 障害福祉サービス

日常生活を営むのに援助が必要な身体障害者及び知的障害者・児童、精神障害者へホームヘルプサービス事業を実施しました。

(1) 居宅介護事業

- ① 実利用人員 18人（前年比 2人減）
- ② 年間延利用人数 183（前年比 47人減）
- ③ 年間サービス提供時間数 2,372.5時間（前年比1,226.5時間減）

提供時間数	内訳		
	身体介護	家事援助	同行援護
	881時間	998時間	493.5時間

1.5 その他

その他、地域福祉推進のために関係機関・団体との連絡調整及び協力・支援を行いました。

- (1) 伊東市遺族会が実施する戦没殉難者慰霊祭（実施日 平成26年5月26日（月）会場 小室山公園）の式典運営への協力を行いました。
- (2) 伊東市介護保険事業者連絡会の事務局として、運営への協力を行いました。
- (3) 平成26年4月22日（火）、ホテルアンビエント伊豆高原にて、東日本震災復興支援（岩手県大船渡市の被災した小学校への楽器購入のための寄附）のためのコーラスグループ「コールやまゆり」「アンサンブルあざれあ」によるチャリティーコンサート開催し、募金510,288円を岩手県大船渡市赤崎小学校へ5月22日に送金し東日本大震災の復興支援に寄与されました。